

18歳意識調査 「第42回 -コロナ禍と社会参加-」要約版

日本財団 2021年10月27日

目次

調査概要	3
コロナ禍前後での政治・社会問題への関心の変化	6
コロナ禍前後での日常生活の変化	7
文化芸術・スポーツ観戦へのリモート・オンライン参加回数	8
コロナ禍前後での身近な人との行動の変化	9
就業状況	10
コロナ禍以降に経験したこと【仕事】	11
コロナ禍以降の仕事やキャリアについて	12
休業支援金・給付金について	13
部活動・サークル活動について	14
コロナ禍以降に経験したこと【部活・サークル】	15
コロナ禍以降の部活動やサークル活動について	16
習い事について	17
コロナ禍以降に経験したこと【習い事】	18
コロナ禍以降の習い事について	19
塾・予備校について	20
コロナ禍以降に経験したこと【塾・予備校】	21
コロナ禍以降の塾・予備校について	22

調査概要 「18歳意識調査」 -コロナ禍と社会参加-

調査対象 全国の17歳～19歳男女

回答数 1000

※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1000

調査除外 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2021年9月16日（木）～9月21日（火）

調査手法 インターネット調査

※注記：調査協力者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも日本全体の17～19歳男女に妥当するものではない。

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

提示文章

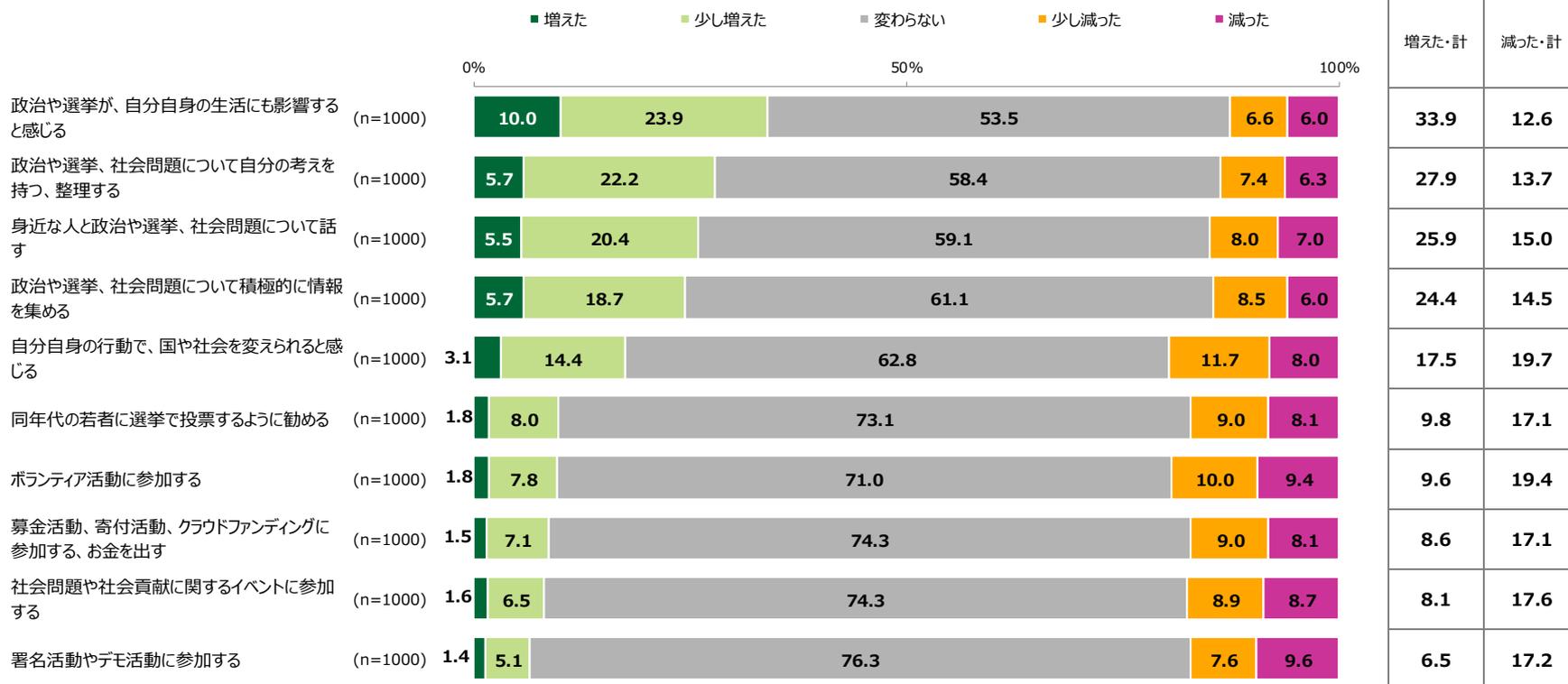
この調査では、新型コロナウイルス感染症の流行前後での日常の様々な変化に関する質問をします。日本国内で初めて感染者が報告されたのは2020年1月です。
この調査では、2019年12月までを「コロナ禍以前」、感染者が出た2020年1月以降を「コロナ禍以降」と呼びます。これを目安として、流行が始まる前のことを思い出しながら回答してください。

要約

コロナ禍前後での政治・社会問題への関心の変化

コロナ禍以前と比べ、「政治や選挙が、自分自身の生活にも影響すると感じる」(増えた計：33.9%)、「政治や選挙、社会問題について自分の考えを持つ、整理する」(増えた計：27.9%)、「身近な人と政治や選挙、社会問題について話す」(増えた計：25.9%)、「政治や選挙、社会問題について積極的に情報を集める」(増えた計：24.4%)などで、増えたと感じている割合が多く、政治や社会問題への関心が高まっている。

Q あなたの政治や社会問題への関心について伺います。コロナ禍以前と以降を比べて、次のような機会や経験が、どの程度増えたか、減ったかを選択してください。(各単一回答)

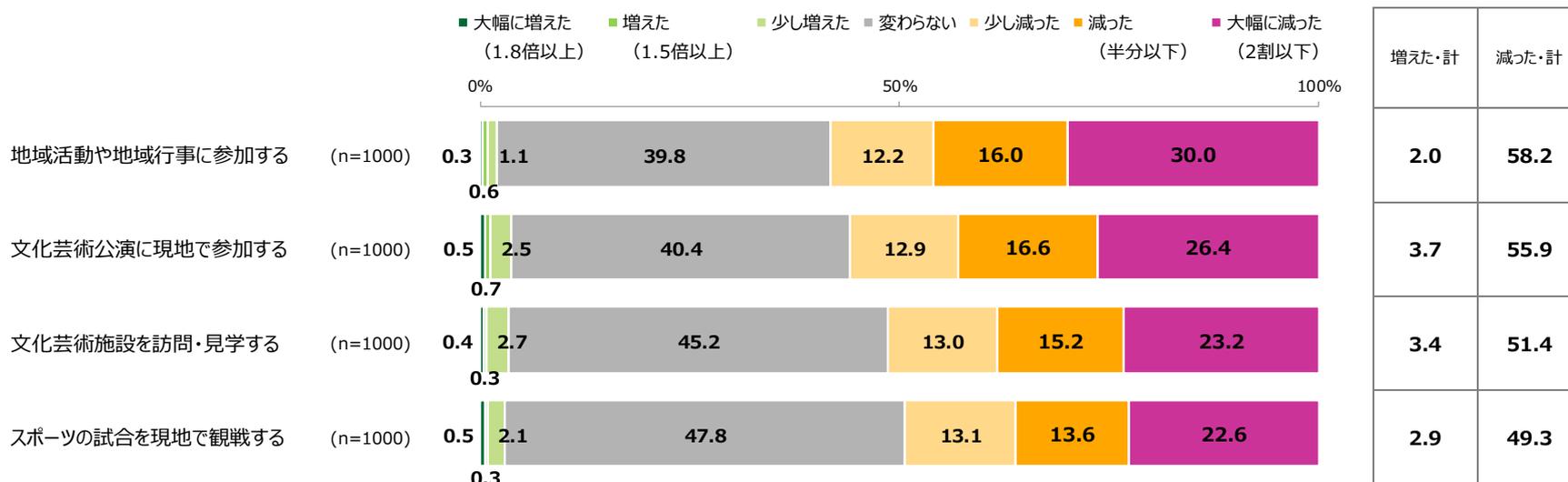


※「増えた・計」(「増えた」+「少し増えた」)の比率の高い順に掲載

コロナ禍前後での日常生活の変化

コロナ禍以前に比べて、「地域活動や地域行事に参加する」は約6割の人が減ったと回答（減った計：58.2%）。その中でも「大幅に減った」は全体の3割。そのほか、文化芸術公演への参加や文化芸術施設の訪問、スポーツ観戦なども、約半数の人が減ったと回答している。

Q あなたの日常の体験や経験について伺います。コロナ禍以前と以降を比べて、次のような機会や経験が、どの程度増えたか、減ったかを選択してください。（各単一回答）

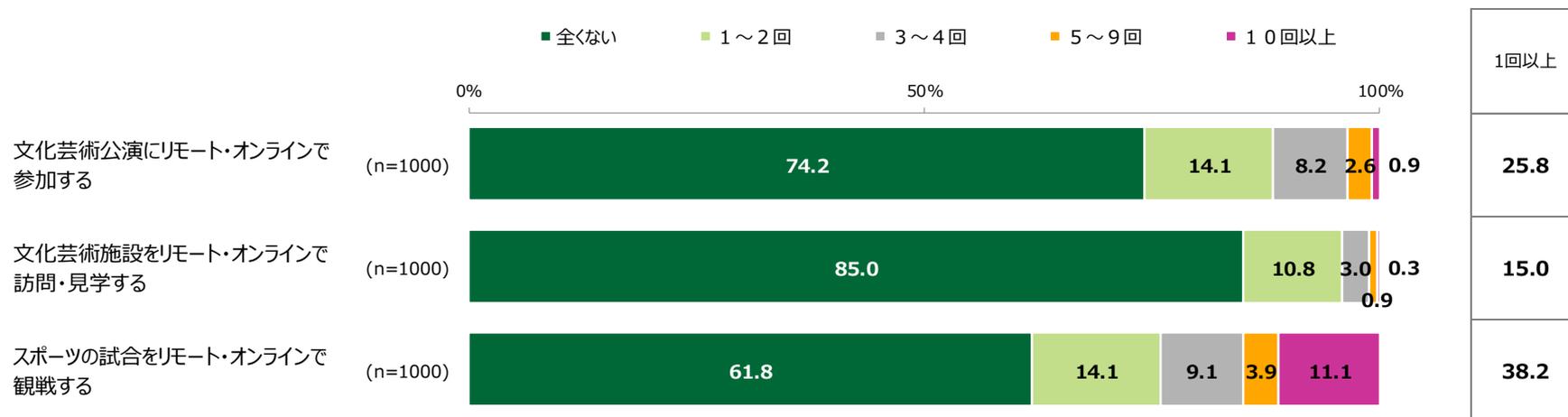


※「減った・計」（「大幅に減った」＋「減った」＋「少し減った」）の比率の高い順に掲載

文化芸術・スポーツ観戦へのリモート・オンライン参加回数

コロナ禍以降のリモート・オンライン参加を1回以上している割合は、「文化芸術公演にリモート・オンラインで参加する」は25.8%、「文化芸術施設をリモート・オンラインで訪問・見学する」は15.0%、「スポーツの試合をリモート・オンラインで観戦する」は38.2%。

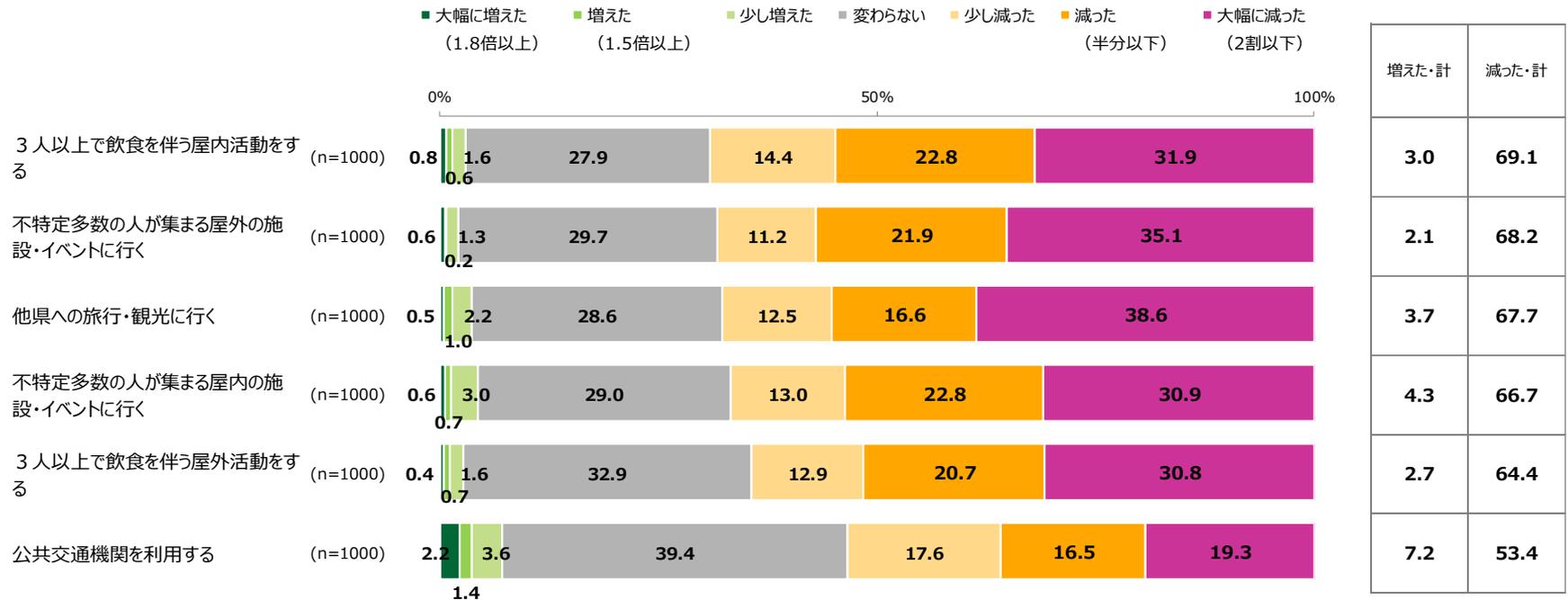
Q コロナ禍以降から現在までに、次の経験をしたことはありますか。次の各項目について、2020年1月以降から今日までの大体の合計回数を選択してください。（各単一回答）



コロナ禍前後での身近な人との行動の変化

コロナ禍以前に比べて2人以上で行う行動について、「3人以上で飲食を伴う屋内活動をする」(減った計：69.1%)は約7割の人が減ったと回答し、減った割合が最も多い。ほか、「不特定多数の人が集まる屋外の施設・イベントに行く」(減った計：68.2%)、「他県への旅行・観光に行く」(減った計：67.7%)、「不特定多数の人が集まる屋内の施設・イベントに行く」(減った計：66.7%)、「3人以上で飲食を伴う屋外活動をする」(減った計：64.4%)は、6割以上が減ったと回答した。

Q 家族を除く身近な人とあなたの2人以上で行う行動、娯楽、生活などについて伺います。
 コロナ禍以前と以降を比べて、次のような機会や経験がどの程度増えたか減ったかを選択してください。(各単一回答)

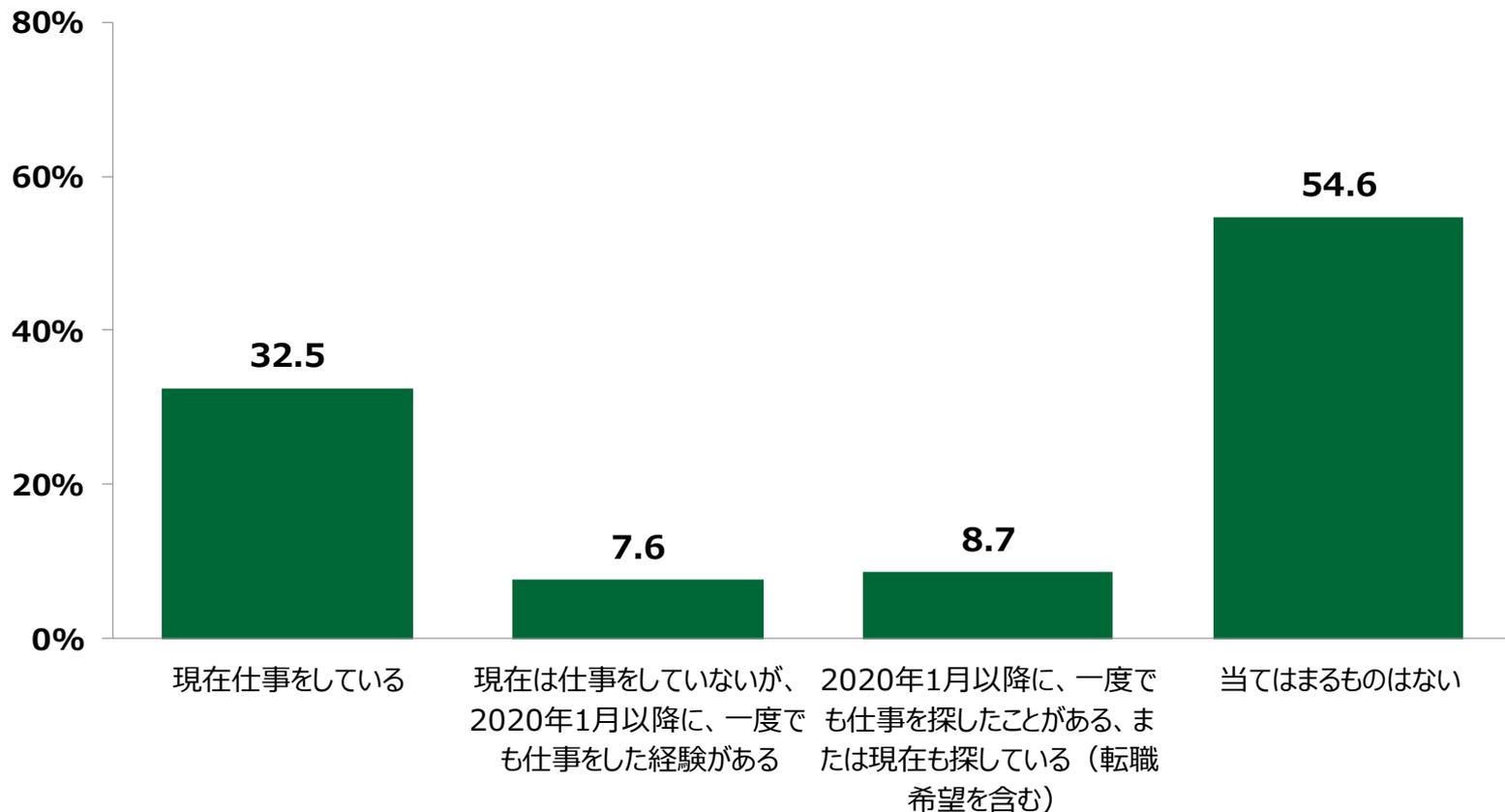


※「減った・計」(「大幅に減った」+「減った」+「少し減った」)の比率の高い順に掲載

就業状況

就業状況について、「現在仕事をしている」は32.5%、「現在は仕事をしていないが、2020年1月以降に、一度でも仕事をした経験がある」は7.6%、「2020年1月以降に、一度でも仕事を探したことがある、または現在も探している（転職希望を含む）」は8.7%。

Q 仕事について伺います。「仕事」には、正規職・非正規職、アルバイト、パート、個人事業などを全て含みます。次のうち、あなたに当てはまるものを全て選択してください。（複数回答）（n=1000）

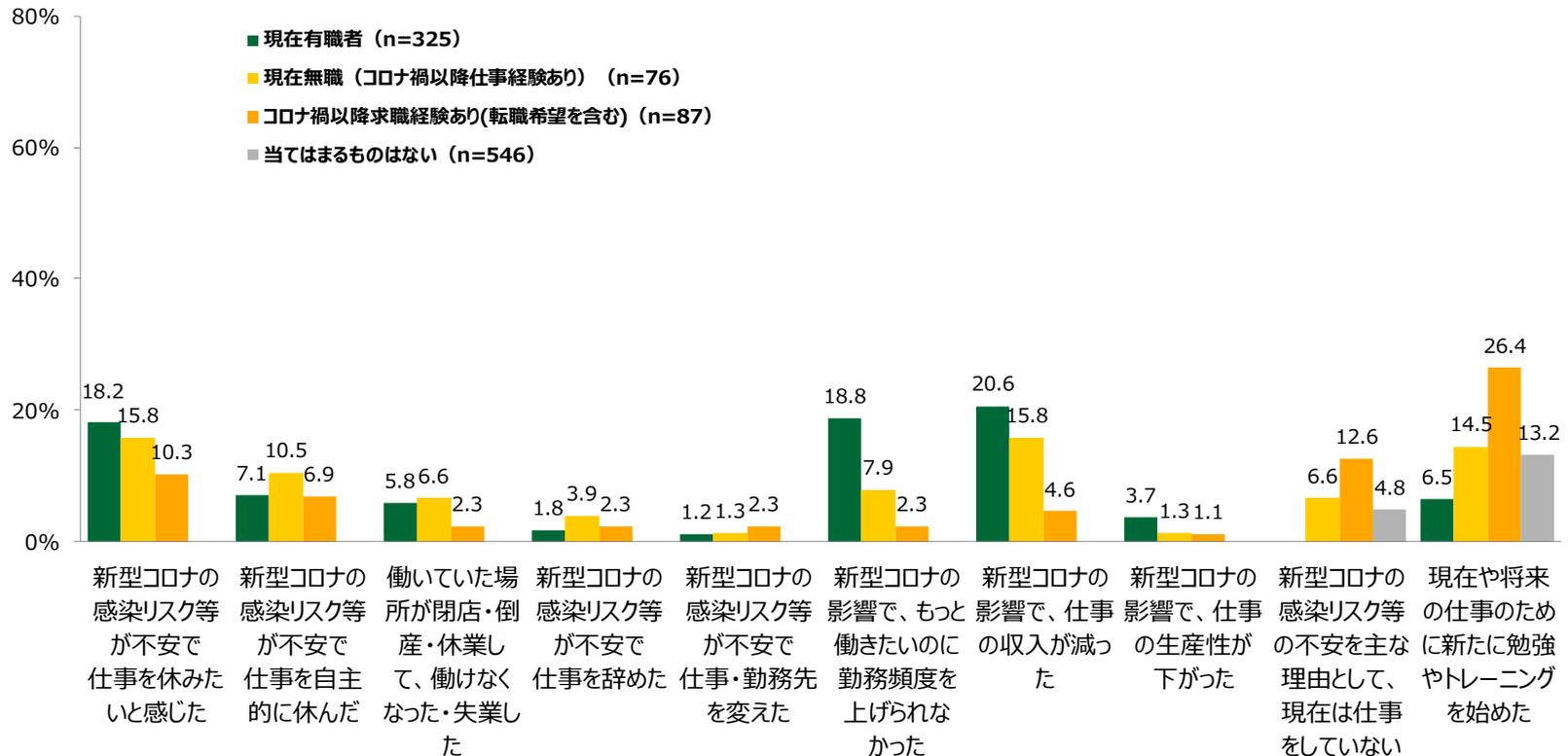


コロナ禍以降に経験したこと【仕事】

コロナ禍以降の仕事について、現在有職者は「新型コロナの影響で、仕事の収入が減った」(20.6%)、「新型コロナの影響で、もっと働きたいのに勤務頻度を上げられなかった」(18.8%)など、収入や仕事量が減ったという回答が多い。

Q コロナ禍以降に、あなたが一度でも経験したことを全て選択してください。(複数回答)

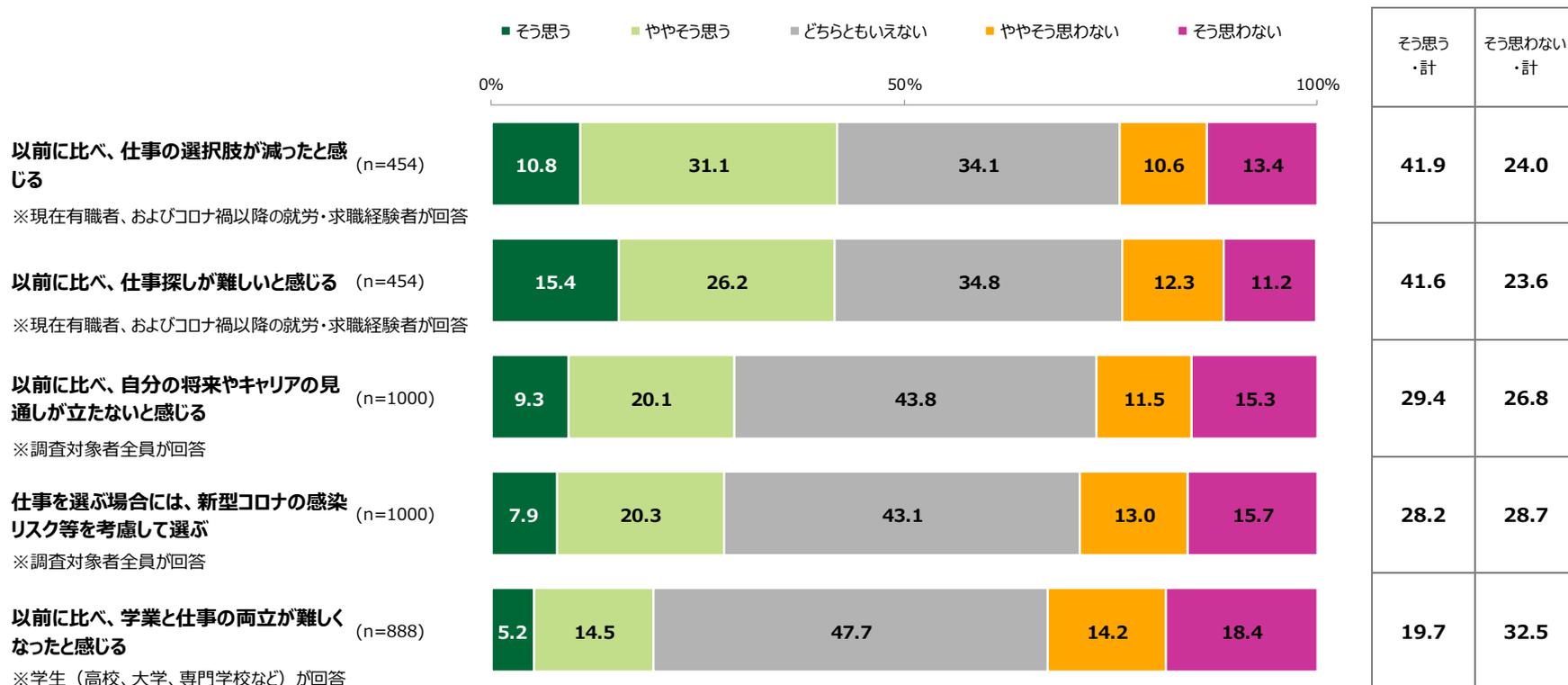
※現在の就業状況別



コロナ禍以降の仕事やキャリアについて

コロナ禍以降の仕事やキャリアについて、「以前に比べ、仕事の選択肢が減ったと感じる」（そう思う計：41.9%）、「以前に比べ、仕事探しが難しいと感じる」（そう思う計：41.6%）の賛同意見が4割以上で多い。

Q コロナ禍以降の仕事やキャリアについて、次の各項目にどの程度賛同しますか。（各単一回答）



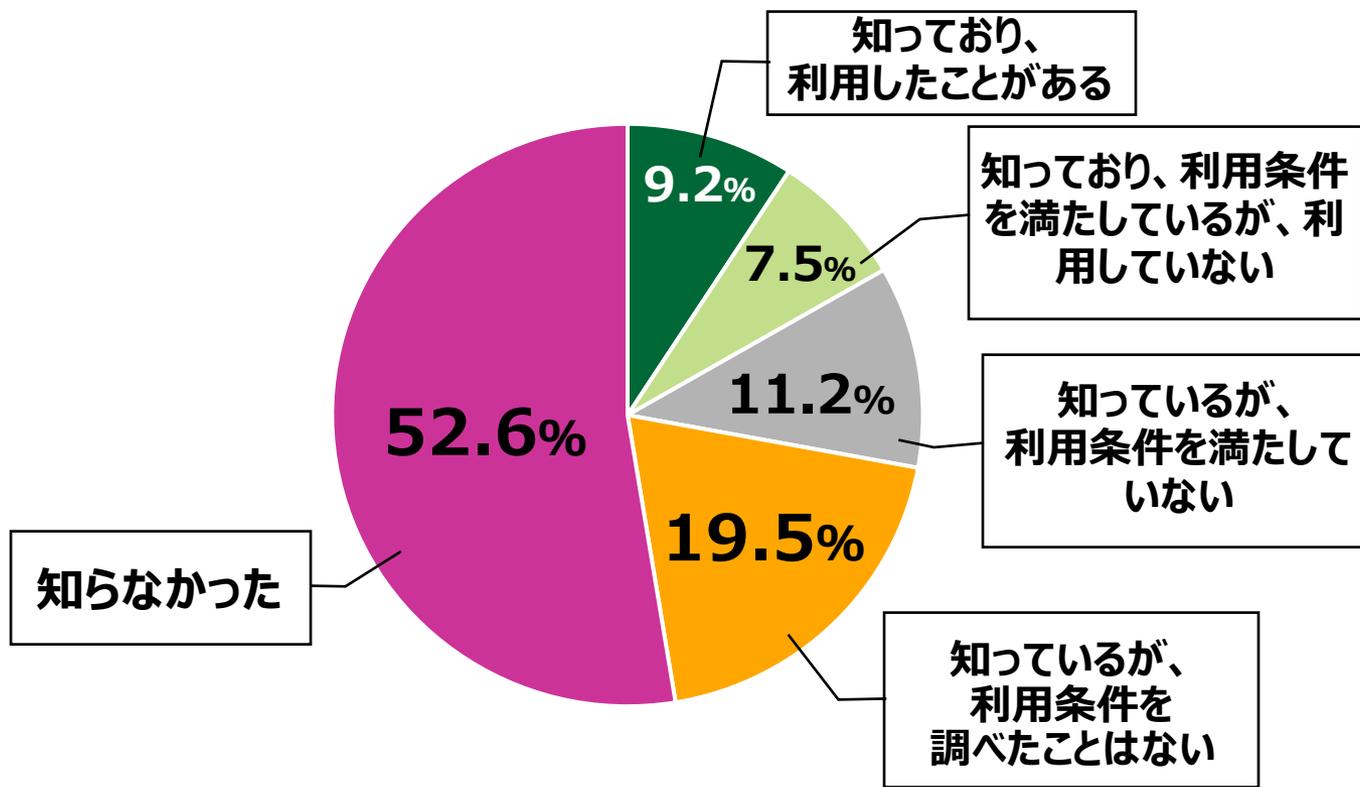
※「そう思う・計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の比率の高い順に掲載

休業支援金・給付金について

休業支援金・給付金をパート・アルバイトでも利用できることについて、過半数が「知らなかった」と回答した。「知っており、利用したことがある」は9.2%にとどまる。

■ 現在有職者・コロナ禍以降仕事経験ありの方

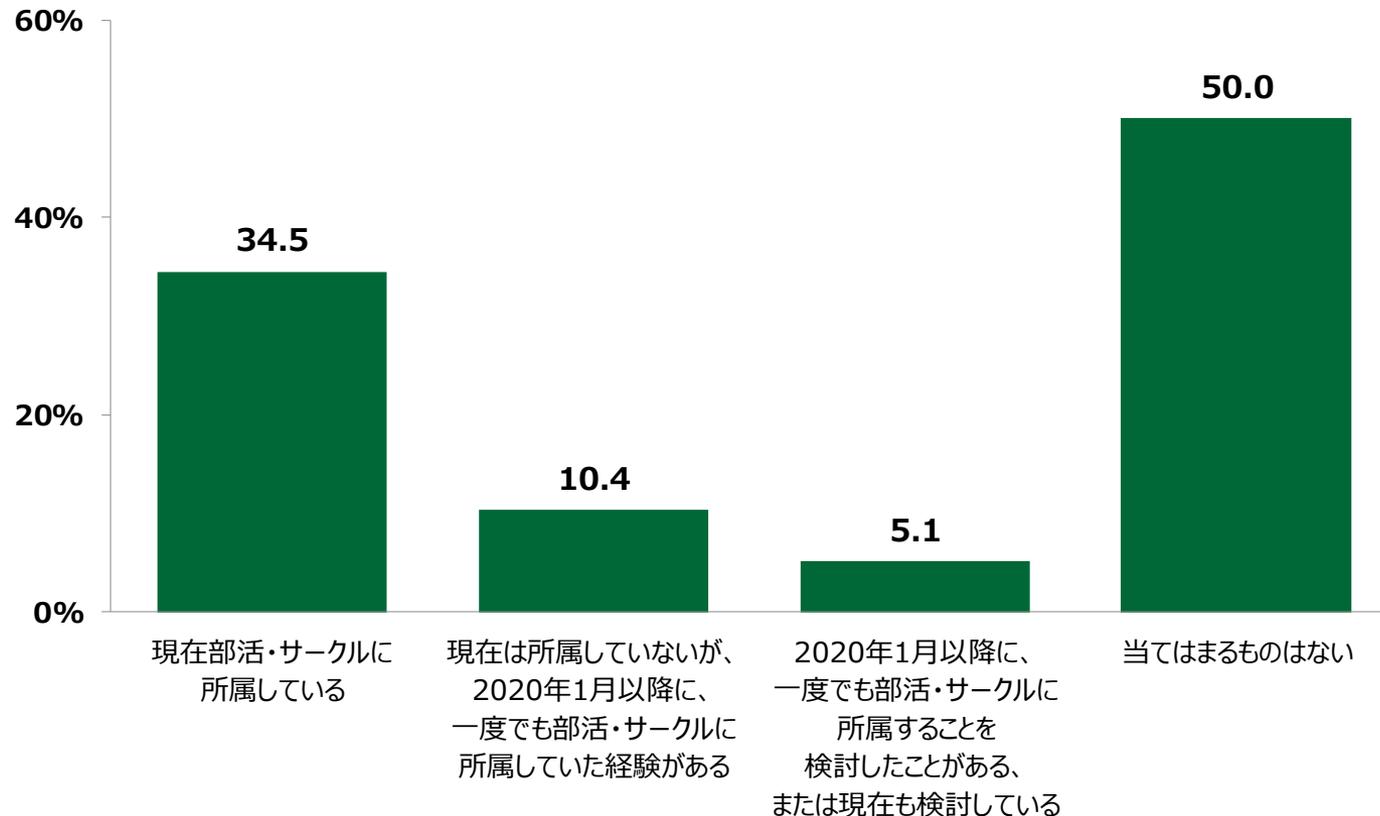
Q パート・アルバイトでも、新型コロナウイルスの影響で休業した場合、シフト日数・勤務時間が減少した場合には、「休業支援金・給付金」（厚生労働省）が利用できることを知っていましたか。（n=401）



部活動・サークル活動について

部活動・サークル活動について、「現在部活・サークルに所属している」は34.5%、「現在は所属していないが、2020年1月以降に、一度でも部活・サークルに所属していた経験がある」は10.4%、「2020年1月以降に、一度でも部活・サークルに所属することを検討したことがある、または現在も検討している」は5.1%。

Q 学校における部活動・サークル活動について伺います。次のうち、あなたに当てはまるものを選択してください。
(単一回答) (n=1000)

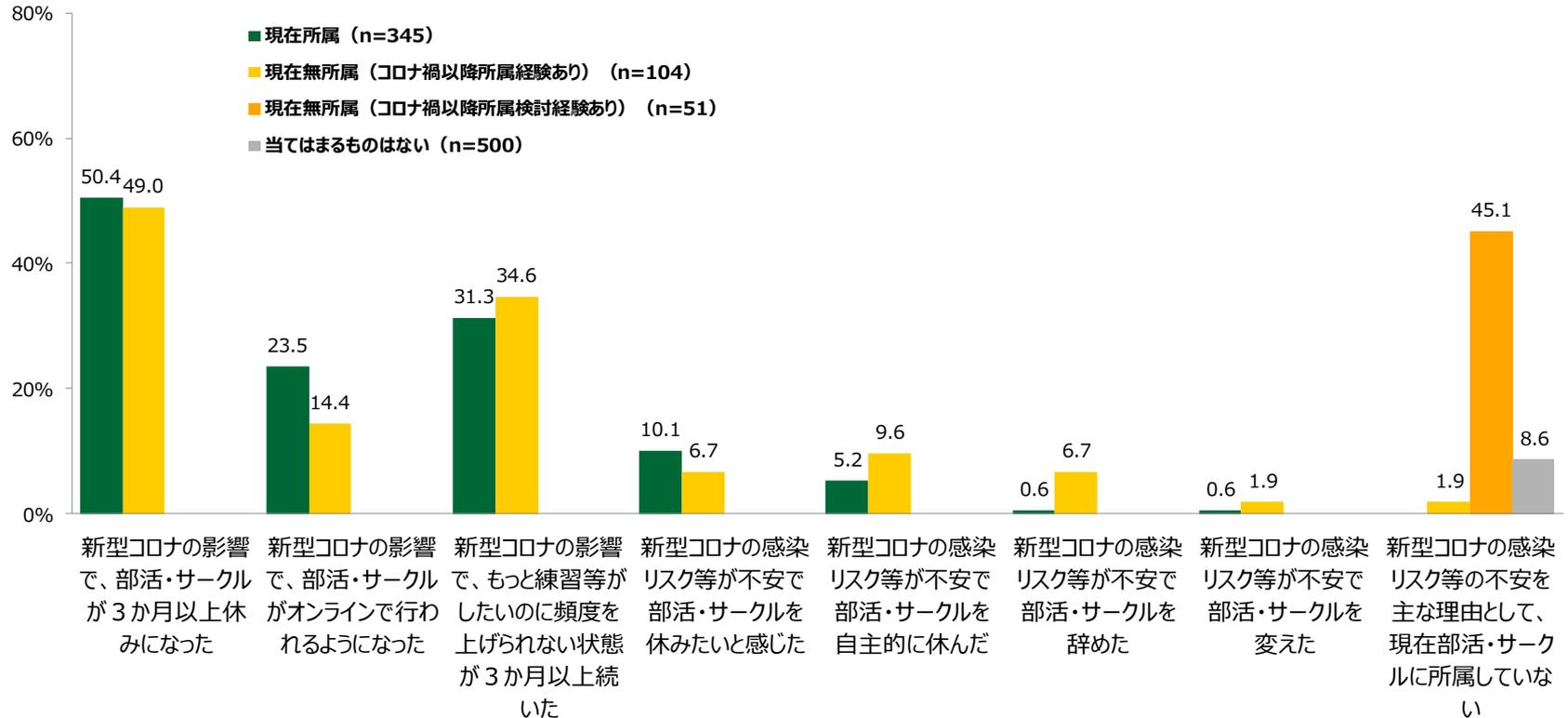


コロナ禍以降に経験したこと【部活・サークル】

コロナ禍以降の部活・サークルについて、現在所属・現在無所属（コロナ禍以降所属経験あり）の層では「新型コロナウイルスの影響で、部活・サークルが3か月以上休みになった」がそれぞれ約半数の割合で最多。次いで、「新型コロナウイルスの影響で、もっと練習等がしたいのに頻度を上げられない状態が3か月以上続いた」がそれぞれ約3割が多い。

Q コロナ禍以降に、あなたが一度でも経験したことを全て選択してください。（複数回答）

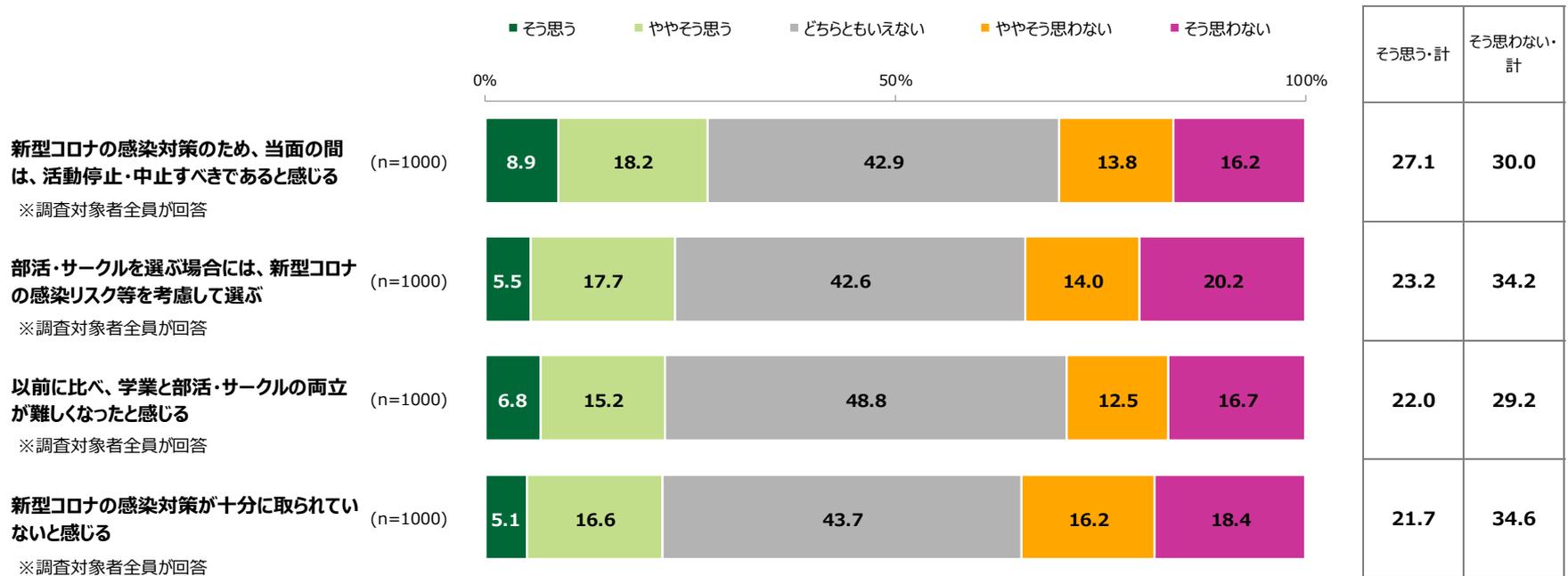
※学校における部活動・サークル活動状況別



コロナ禍以降の部活動やサークル活動について

コロナ禍以降の部活動やサークル活動について、「新型コロナの感染対策のため、当面の間は、活動停止・中止すべきであると感じる」は27.1%、「部活・サークルを選ぶ場合には、新型コロナの感染リスク等を考慮して選ぶ」は23.2%、「以前に比べ、学業と部活・サークルの両立が難しくなったと感じる」は22.0%、「新型コロナの感染対策が十分に取られていないと感じる」は21.7%が賛同。

Q コロナ禍以降の学校における部活動・サークル活動について、次の各項目にどの程度賛同しますか。（各単一回答）

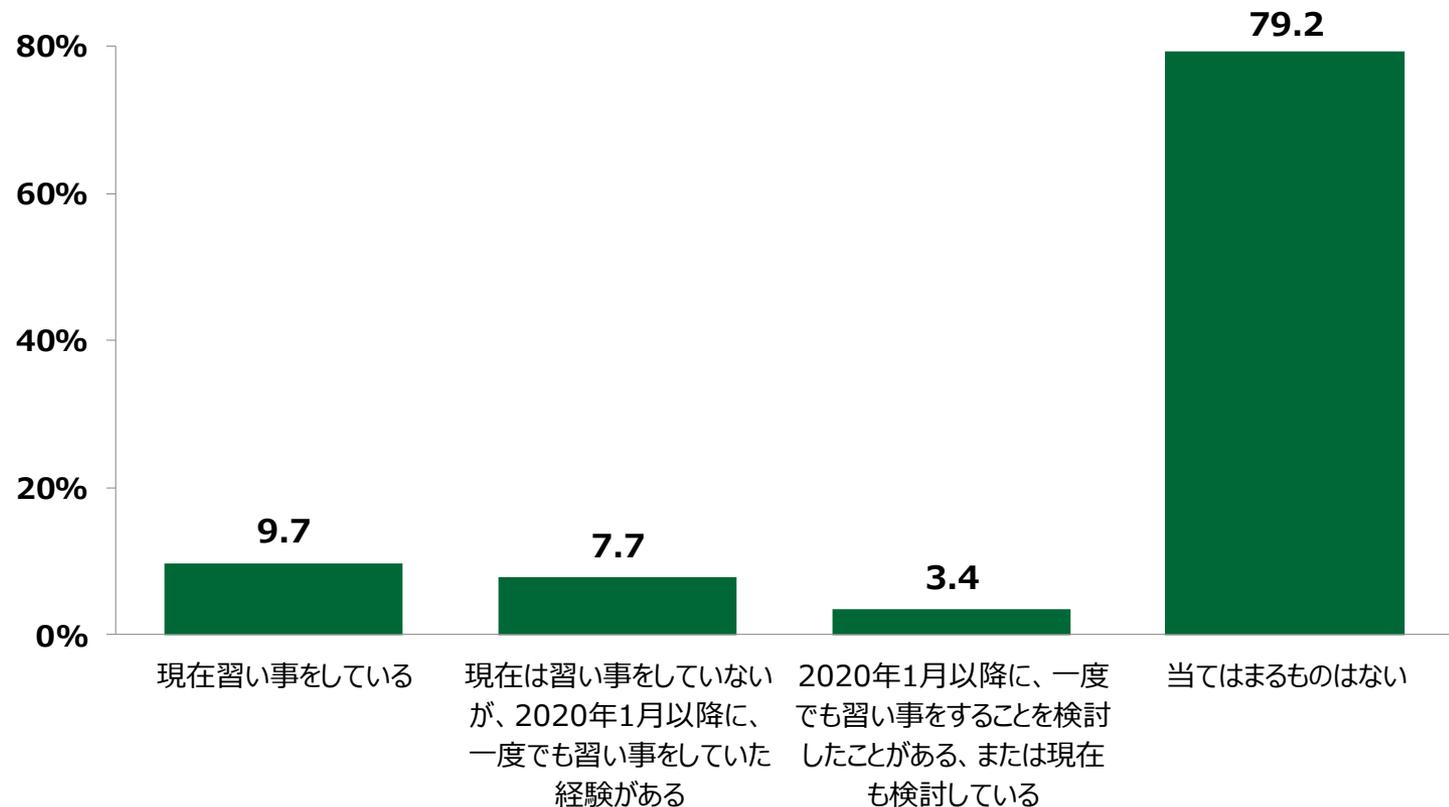


※「そう思う・計」（「そう思う」 + 「ややそう思う」）の比率の高い順に掲載

習い事について

習い事について、「現在習い事をしている」は9.7%、「現在は習い事をしていないが、2020年1月以降に、一度でも習い事をしてきた経験がある」は7.7%、「2020年1月以降に、一度でも習い事をすることを検討したことがある、または現在も検討している」は3.4%。

Q 習い事（塾・予備校を除く）について伺います。次のうち、あなたに当てはまるものを選択してください。
（単一回答）（n=1000）

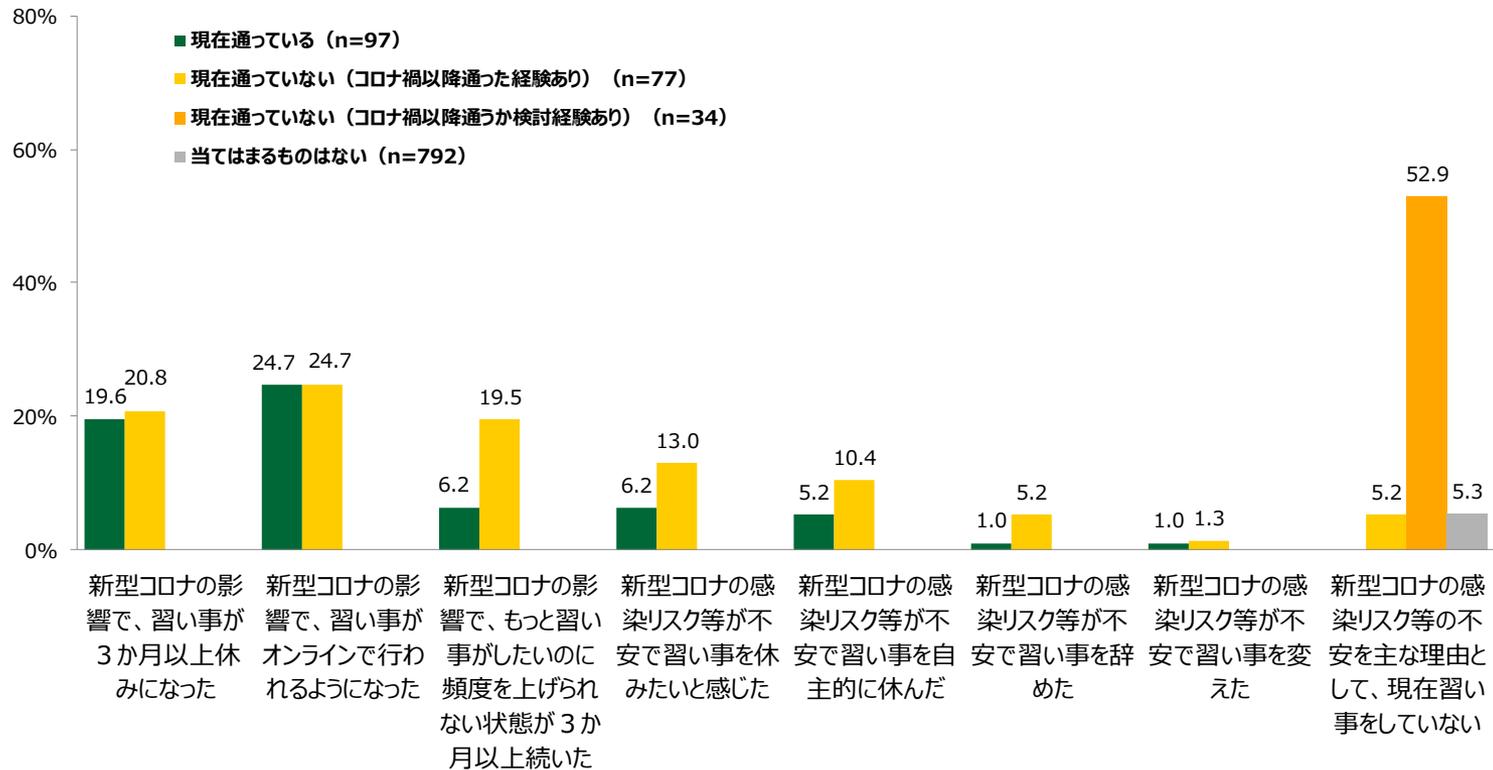


コロナ禍以降に経験したこと【習い事】

習い事でコロナ禍以降に経験したことは、現在通っている層と現在通っていない（コロナ禍以降通った経験あり）層では「新型コロナの影響で、習い事がオンラインで行われるようになった」がそれぞれ24.7%で最多。ほか、「新型コロナの影響で、習い事が3か月以上休みにになった」がそれぞれ約2割。

Q コロナ禍以降に、あなたが一度でも経験したことを全て選択してください。（複数回答）

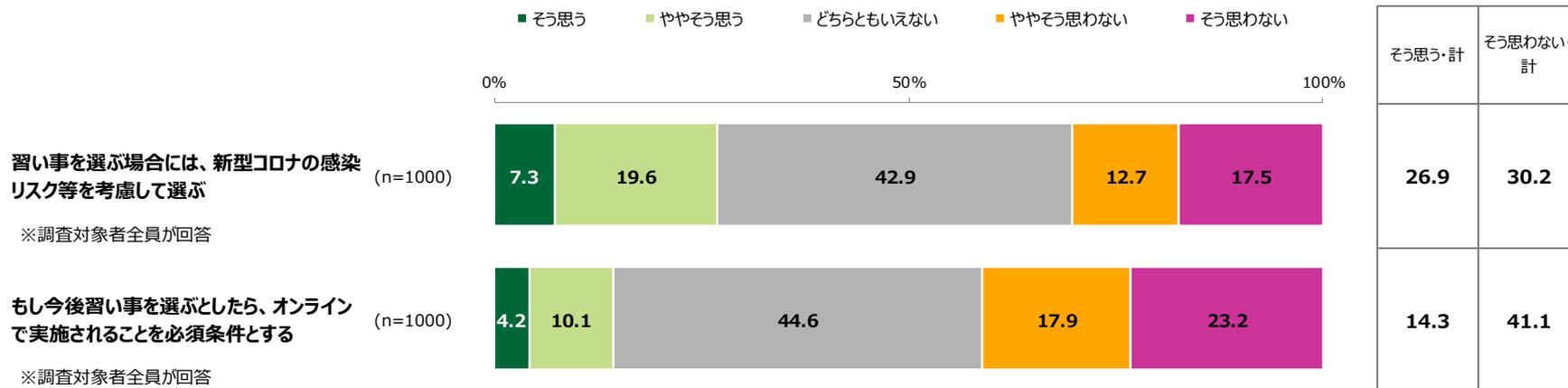
※習い事有無別



コロナ禍以降の習い事について

コロナ禍以降の習い事について、「習い事を選ぶ場合には、新型コロナウイルスの感染リスク等を考慮して選ぶ」は26.9%、「もし今後習い事を選ぶとしたら、オンラインで実施されることを必須条件とする」は14.3%が賛同。

Q コロナ禍以降の習い事について、次の各項目にどの程度賛同しますか。（各単一回答）

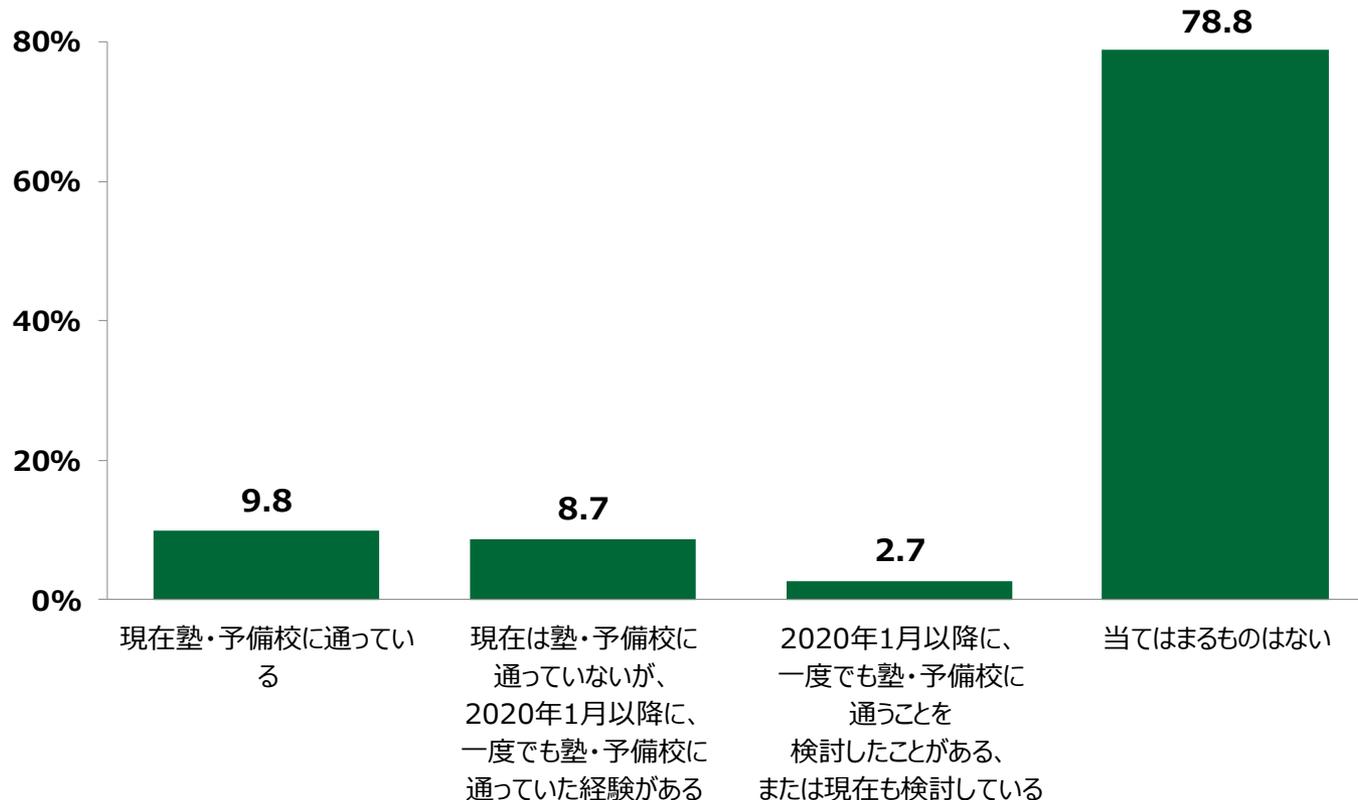


※「そう思う・計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の比率の高い順に掲載

塾・予備校について

塾・予備校について、「現在塾・予備校に通っている」は9.8%、「現在は塾・予備校に通っていないが、2020年1月以降に、一度でも塾・予備校に通っていた経験がある」は8.7%、「2020年1月以降に、一度でも塾・予備校に通うことを検討したことがある、または現在も検討している」は2.7%。

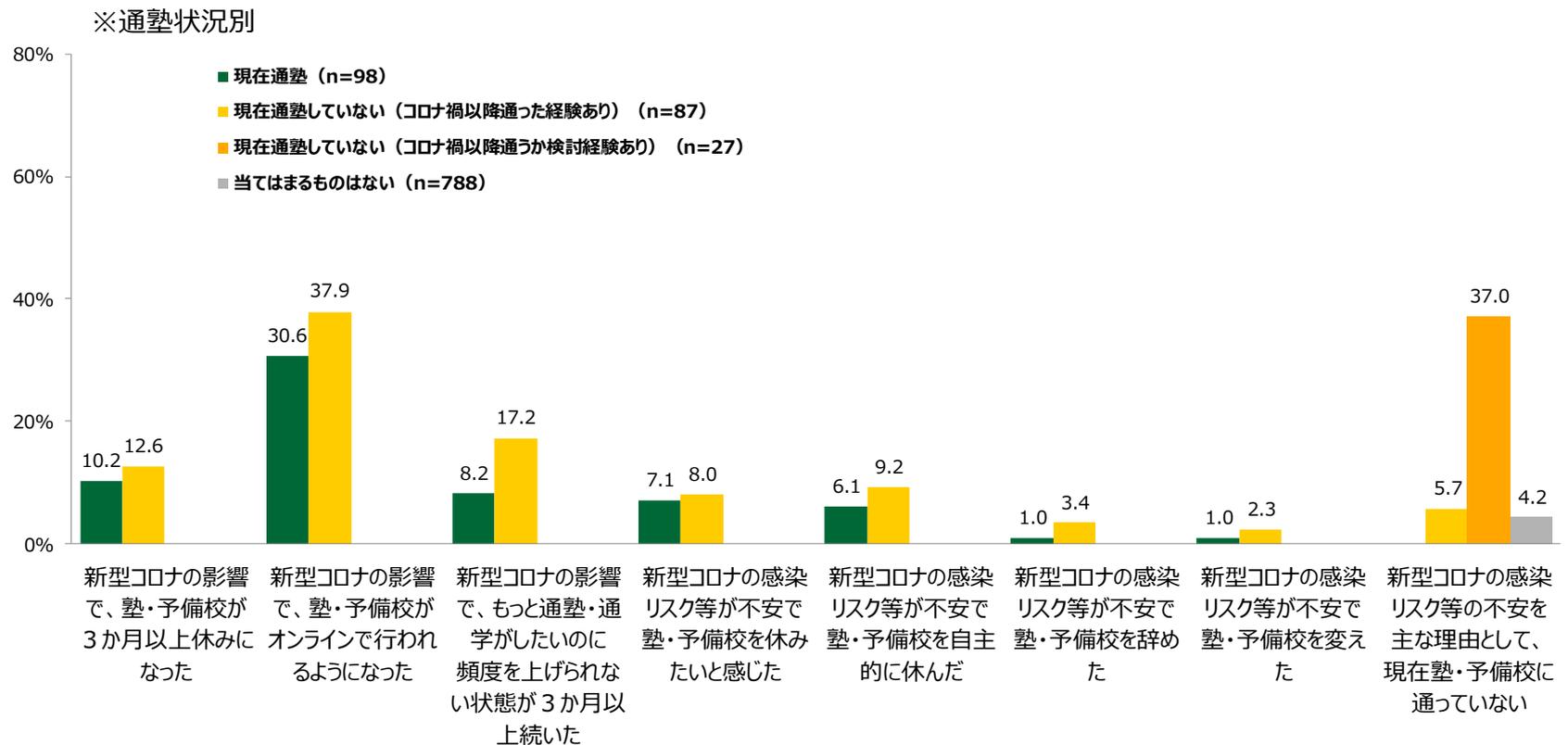
Q 塾・予備校について伺います。次のうち、あなたに当てはまるものを選択してください。
(単一回答) (n=1000)



コロナ禍以降に経験したこと【塾・予備校】

コロナ禍以降の塾・予備校について、現在通塾している層と現在通塾していない（コロナ禍以降通った経験あり）層では「新型コロナウイルスの影響で、塾・予備校がオンラインで行われるようになった」が3割以上で最多。

Q コロナ禍以降に、あなたが一度でも経験したことを全て選択してください。（複数回答）

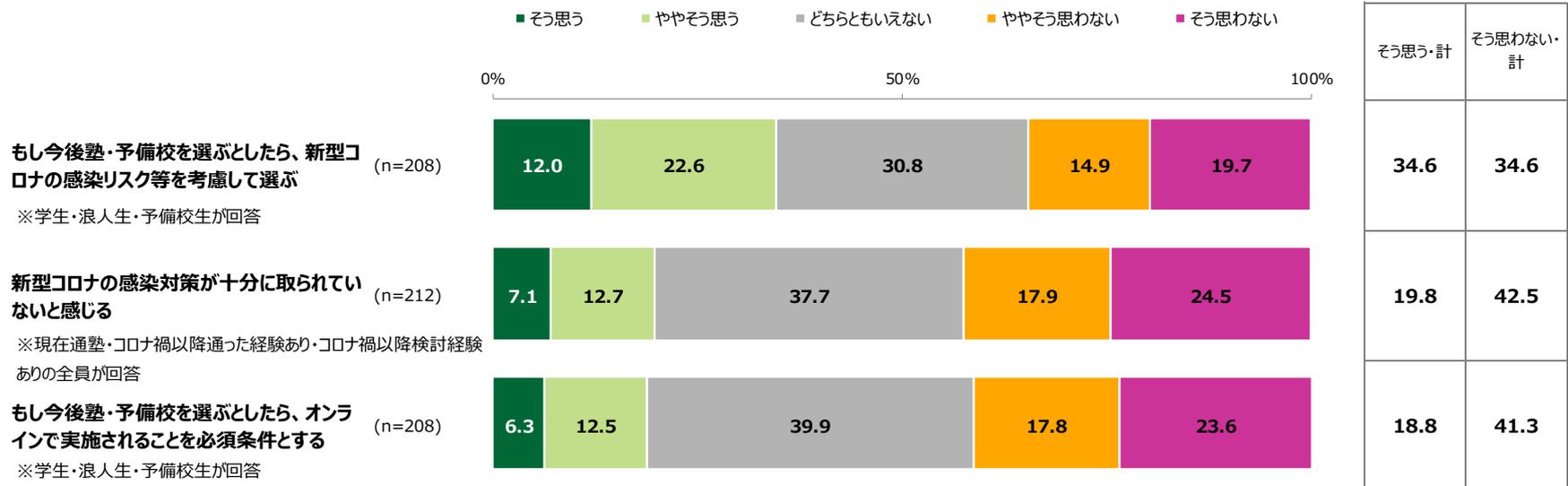


コロナ禍以降の塾・予備校について

コロナ禍以降の塾・予備校について、「もし今後塾・予備校を選ぶとしたら、新型コロナウイルスの感染リスク等を考慮して選ぶ」は34.6%、「新型コロナウイルスの感染対策が十分に取られていないと感じる」は19.8%、「もし今後塾・予備校を選ぶとしたら、オンラインで実施されることを必須条件とする」は18.8%がそれぞれ賛同。

■ 現在通塾・コロナ禍以降通った経験あり・コロナ禍以降検討経験ありの方

Q コロナ禍以降の塾・予備校について、次の各項目にどの程度賛同しますか。（各単一回答）



※「そう思う・計」（「そう思う」+「ややそう思う」）の比率の高い順に掲載